

| | | | |
|--|---|------|------|
| クラス | 319 | 担当教員 | 松本 太 |
| テーマ | 地域の自然と人間とのかかわりを探究する | | |
| 著書・論文 | 【著書】内陸都市はなぜ暑いのか。成山堂書店，2010年 | | |
| 研究課題等 | 【論文】夏季と冬季における名古屋市茶屋新田の水田を有する市街地の小気候調査，日本生気象学会雑誌，50(2)，2013年 | | |
| | 【論文】ネパール・テライ低地における住宅の温熱環境。地理学評論，90(3)，2017年 | | |
| 【論文】近年におけるサクラの開花と冬季の温暖化。日本生気象学会雑誌，54(1)，2017年 | | | |
| ゼミナール概要 | | | |
| キーワード：地理学、地理教育、フィールドワーク、環境問題 | | | |
| <p>【目的】 現代社会は、情報があふれ、国や地域の垣根がなくなり、グローバル化しています。同時に地球環境や地域社会にも大きな変化が起こっています。その中で、私たちの生活は、社会の動きと連動した行動が求められています。そこで、国際人であると同時に、地域社会に貢献できる知識や力を身につけることを目的とします。</p> <p>【内容・方法】 本ゼミでは、地理学を主とした研究に取り組みます。ある地域の自然環境や人間活動について、フィールドワークや資料などにより調査します。巡検や気象観測など「ゼミ全体で行う研究」（共通テーマ）と、卒業研究など「個人で行う研究」（個人テーマ）があります。対象地域は、知多半島、愛知県、他都道府県など色々です。本ゼミでは、地理教育に関する研究も対象とします。 地理学の有用性は、小学校、中学校の社会科教育だけでなく、旅行、地図製作、環境評価、災害対策、天気予報など、沢山あります。ぜひ、地理学を専門的に学び、今後の社会生活に活かしていきましょう。 なお、社会の理解は一領域では完結せず、総合的な学習と理解が必要となります。このため、他の社会系の先生およびゼミとの相互交流・指導を行います。</p> <p>《地理学の専門分野》 ① 自然地理学 …… 地形、気候、水文、植生、土壌など、自然環境が研究対象。 ② 人文地理学 …… 都市、農業、文化、歴史、交通など、人間活動が研究対象。</p> <p>《大学周辺でできそうな共通テーマ》 ・知多半島における「ため池」の成立に関する自然的要因 ・半田市における都市気候はサクラの開花を早めているか？</p> <p>【授業計画】 3年生（研究の基礎を学ぶ）：興味がある文献の紹介、調査の計画や実施報告など。 4年生（研究を深める）：卒業論文の構想、調査の計画・実施・解析、文章作成など。</p> | | | |
| 担当教員からのメッセージ | | | |
| <p>★高校までの地理の得意、苦手はあまり関係ありません。高校で地理を履修していなかった人でも結構です。今のゼミ生は地理初心者が多いですが、十分熱意を持って、地域の探究に取り組んでいます。</p> <p>★一人一人のテーマに対して、ゼミ全体で積極的に話し合い、調査を協力して取り組んでいきます。</p> <p>★教室内だけでなく、実際に足を運んで、目で見て、現地の空気を感じながら、巡検や調査を行うことができます。</p> <p>★旅行や遠足が好き、外に出かけるのが好きな人は特に向いています！</p> | | | |